

令和4年度 事業報告書

県内の中小企業や小規模事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安に伴う原材料価格の高騰など、事業活動に大きな影響を受けることとなった。

このため、県をはじめ国や関係機関と緊密に連携を図り、関連支援施策を適時、的確に実施するとともに、ウィズコロナに向けて県内中小企業の経営基盤の強化、さらなる成長・発展に向け、県内中小企業の中核的支援機関として、精力的に取り組みを進めた。

令和4年度中に実施した事業の概要は、次のとおりである。

I 公益目的事業

県内中小企業等の経営基盤の強化等を総合的に支援する事業を実施した。

1 情報提供事業

(1) 「ガイドブック」による中小企業支援施策の活用促進

中小企業が利用できる各種支援施策を紹介し、周知を図るため「中小企業施策活用ガイドブック」を作成し、県内中小企業者の活用に供するとともに、経営指導員及び中小企業支援機関職員等の手引としてもその活用を図った。併せて、ホームページにPDF版を掲載し、インターネットからのダウンロードにも対応するなど活用促進を図った。

作成部数：2,800部

(2) ホームページ・メールマガジンによる発信

① ホームページ

振興センターが実施する各種事業等の活動内容を紹介した。

② メールマガジン

振興センターの事業内容やビジネス情報等を、メールマガジンにより配信した。

週1回（定期）の他、随時配信 配信先：4,171件

(3) 情報誌の発行

振興センターの情報誌「ビジネスサポートふくおか」を発行し、センター事業の最新情報や国・県の中小企業関連施策等について広報を行った。

発行回数：12回（月1回） 発行部数：1,600部

(4) 景気動向調査の実施

県内中小企業の現況を把握するため、四半期毎にモニター企業 300 社に対して景気動向調査を行い、その結果を情報誌「ビジネスサポートふくおか」で年 4 回公表した。

2 経営改善及び販路拡大等による支援

(1) よろず支援拠点運営事業

中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制を強化するため、チーフコーディネーター1名及びコーディネーター60名を配置し、「総合的・先進的経営アドバイス」、事業者の課題に応じた適切な「チームの編成を通じた支援」、「的確な支援機関等の紹介」等の機能を有する「福岡県よろず支援拠点」を設置・運営した。

北九州・久留米・飯塚に設置している常設の相談窓口に加え、市町村や商工会議所・商工会等の支援機関と連携したよろず相談窓口をさらに拡充し、県内 81 か所において、中小企業・小規模事業者の経営相談に対応した。そのうち、75 か所にはテレビ電話システムを導入し、事業者のより身近なところで相談対応できるようにしている。さらに、中小企業・小規模事業者の多様なニーズに対応するため、コーディネーターを適宜入れ替えて補強するとともに、土日に加えて祝日、夜間も相談対応を行った。

また、中小企業・小規模事業者の経営に資するセミナーを開催するとともに、福岡県弁護士会及び日本政策金融公庫と連携し、合同相談を行った。

活動実績 ※みなし来訪者を含む

指標	実績
相談対応件数	43,682 件
来訪相談者数※	19,438 者
課題解決件数	3,054 件
ネットワーク活動件数	1,246 件
少人数セミナー実施回数	1,408 回 (参加者数 3,736 名)
出張相談会実施回数	829 回 (参加者数 1,972 名)

(2) 専門家派遣事業

一定期間にわたり現場で助言して支援を行う必要があるものについて、振興センターに登録している専門家（中小企業診断士、社会保険労務士等）を直接企業に派遣し、その課題解決のための指導を行った。

専門家派遣件数

業種	派遣企業数 (実数)	派遣等延べ件数
製造業	6社	41件
卸売業	6社	27件

建設業	0社	0件
小売業	2社	8件
サービス業	4社	17件
その他	2社	10件
計	20社	103件

また、福岡県が「トップランナー企業」として認定した、商品の販路拡大や新製品の市場投入等の事業計画を有し、海外進出を目指す小規模事業者 14 社に専門家を派遣し、集中的に支援した。

派遣回数：56 回

併せて、商工会議所からの依頼を受け、小規模事業者 5 社に専門家を派遣して伴走支援を行った。

派遣回数：15 回

(3) 経営革新推進事業

コロナ禍からの脱却を目指し、福岡県経済を本来の自律的な成長軌道に乗せていくため、県内中小企業が経営革新計画に基づき実施する事業に必要な経費について、補助金を交付した。

交付実績：66 件 計：26,725,386 円

(4) 経営革新原油高騰等克服支援事業

原油価格をはじめとする原材料価格の高騰など外部環境が大きく変化する中、経営革新計画の承認を受け、計画の実現に向けて取組む中小企業を対象に、計画に基づく事業を実施するために必要な経費（計画推進枠）を補助するとともに、経費削減を目的として実施する事業に必要な経費（経費削減枠）について、補助金を交付した。

交付決定件数：計画推進枠：283 件、経費削減枠：902 件

4 年度交付実績：計画推進枠 239 件 計 97,803,610 円、経費削減枠 513 件 計 290,149,624 円

(5) 経営強化改善提案事業

経営環境の変化に対応した経営力の高い中小企業者を創出するため、経営革新計画等に取り組む中小企業を対象に、既存事業の実態把握、融資返済の見通しなど経営全体の分析を行い、経営強化に向けた改善提案書を作成・発行した。

提案書発行実績：13 件

(6) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業

新型コロナウイルス感染症に対応して、福岡県と福岡市が設けた新型コロナウイルス感染症対応資金の制度融資を受けた中小企業者に対し、8月と2月の2回に分けて利子補給補助金を交付した。

交付実績：福岡県分 87,320 件 計 8,321,266,652 円、福岡市分 35,426 件 計 3,492,060,361 円

(7) ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター事業

企画推進員4名、地域プランナー6名、農商工連携アドバイザー13名を配置し、6次産業化・農商工連携に取り組む農林漁業者や中小企業者に対する支援を行った。農林漁業者等による6次産業化の取り組みを含む経営全体の付加価値額を増加させるための経営や組織運営の改善に対する支援のほか、商工業者の新商品・試作品開発などに対する個別支援を行った。

相談対応件数：290件 商品開発・改良件数：62件

(8) ふくおかフードビジネスマッチング事業（地域資源活用等促進事業）

これまでの支援で開発された福岡県産農林水産物を活用した商品について、モニター調査会やバイヤーによる求評会を通じて付加価値の高い売れる商品へとブラッシュアップを図った。加えて、都市圏での展示販売会の開催や大型展示商談会への出展支援により、販路の拡大を図った。

① 地域ブランド育成講座

内容	講師	開催日	開催場所	参加人数
ライバルに差をつけるブランド戦略の基礎	農商工連携アドバイザー 妹尾 薫	令和4年6月22日	オンライン	13名
規格外品の活用法～価値ある商品化へ向けて～	農商工連携アドバイザー 田中 美智子	令和4年7月8日	オンライン	14名
固定ファンを確実に増やすアナログ&デジタル販促	農商工連携アドバイザー 辻山 敏	令和4年7月28日	オンライン	12名
加工食品を製造したい生産者と受託製造業者とのマッチング	農商工連携アドバイザー 田中 美智子	令和4年8月2日	中小企業振興センタービル	9名
流通構造を理解して商品を売ろう	農商工連携アドバイザー 辻山 敏	令和4年8月18日	オンライン	12名

② モニター調査会

開催日	開催場所	参加事業者数	参加モニター数
令和4年12月10日	中小企業振興センタービル	6社	29名

③ バイヤー求評会

開催日	開催場所	参加事業者数	参加バイヤー数
令和4年9月15日	中小企業振興センタービル	11社	4社
令和5年1月19日	中小企業振興センタービル	11社	4社

④ 個別商談会

開催日	開催場所	参加事業者数 参加バイヤー数	成果等 (令和5年3月31日現在)
令和4年9月27日～29日	オンライン	12社 6社	商談件数：18件 成約件数：4件
令和5年3月2日	中小企業振興センタービル	15社 6社	商談件数：30件 成約件数：0件

⑤ 大型展示商談会への出展支援

開催日	出展商談会	出展事業者数	成果等 (令和5年3月31日現在)
令和4年11月9日、10日	FOOD STYLE Kyushu 2022	33社	商談件数：475件 成約件数：68件 成約額：7,632千円

⑥ 展示販売会

開催日	開催場所	展示販売会名	参加事業者数	成果等
令和4年6月14日～16日	福岡県庁1階ロビー	福岡県6次化商品PR販売会	8社	売上金額：330,190円
令和4年12月13日、14日	福岡県庁1階ロビー	福岡県6次化商品PR販売会	7社	売上金額：188,260円
令和5年2月8日～12日	八芳園 MuSuBu（東京都）	福岡いちご収穫祭～Love Love Strawberry～	26社	売上金額：1,001,765円

3 取引推進事業

(1) 企業間取引の推進

県内外の企業を訪問するなどして発注開拓を行い、取引条件の合う発注企業と受注企業相互の紹介と取引あっせんを行った。

また、企業間取引の拡大を促進するためにインターネットを活用した企業間取引サイトの運営を行うとともに、掲載データ更新及び機能強化を図った。

① 取引あっせん

ア 企業訪問

企業訪問により、地域における産業及び発注企業の動向を的確に把握し、受注企業に対して新規取引先に関する情報提供や、加工技術、設備、生産管理等に関する適切なアドバイスを行った。

訪問企業数 297社（県内：250社 県外：47社）

イ 発注開拓調査

発注情報収集のため九州各県合同による発注開拓調査を実施した。

調査時点	調査企業数	発注案件数	あっせん数 (福岡県)
令和4年6月	173社	14件	11件
令和4年11月	176社	12件	6件
計	349社	26件	17件

ウ 取引あっせん

中小企業の受注確保や新規取引先の開拓を支援するため、個々の企業から相談を受け、広域的なあっせんを行った。

取引あっせん状況

項目	件数	
	県外	
発注申し出	376件	217件
受注申し出	53件	1件
あっせん	1,397件	833件
成立	85件	47件
成立当初金額	243,063千円	182,239千円

県別あっせん成立状況

区分	福岡	佐賀	長崎	大分	宮崎	鹿児島	山口	広島	大阪	京都	愛知	東京	富山	愛媛	合計
発注企業（件数）	51	1	1	15	1	0	3	1	1	2	2	5	1	1	85
受注企業（件数）	71	1	0	1	8	1	1	0	0	0	2	0	0	0	85

② 「フクオカビジネスマッチングサイト」による取引の拡大支援

受発注企業情報を掲載したBtoBサイト「フクオカビジネスマッチングサイト」により、インターネットを活用した企業間取引を促進した。

区分	登録企業数
製造業	2,443社
うち発注企業	221社
非製造業	692社
合計	3,135社

(2) 販路開拓支援

県内外メーカーや商社等の発注企業を招聘し、県内中小企業の受注機会を提供するために展示会・商談会を主催したほか、販路開拓支援の一環として、中小企業が出展する各種展示会、商談会の費用の一部を助成した。

また、民間通販サイトの利用が困難な中小企業等の販路開拓を支援するため、消費者向けの通販サイト「よかもん市場」を運営するなどインターネットを活用し、消費者向け商材の販路開拓を図った。

① 商談会・展示会等

中小企業等が必要とする経営資源の確保を支援するため、地方公共団体等からの受託及び自主企画により次の事業を実施した。

ア 商談会の開催（地域商談会）

製造技術マッチング商談会（（公財）北九州観光コンベンション協会からの受託事業）

開催日	開催場所	参加発注企業	参加受注企業	商談件数	成約件数及び成約金額
令和4年7月6日、7日	西日本総合展示場	90社	195社	669件	22件：10,270千円

福岡市情報サービス業ビジネスマッチング商談会（福岡市からの受託事業）

開催日	開催場所	参加発注企業	参加受注企業	商談件数	成約件数及び成約金額
令和4年12月8日	中小企業振興センタービル	31社	53社	183件	5件：4,500千円

技術提案オンライン商談会（地域資源活用等促進事業）

開催日	開催場所	参加企業数	プレゼン実施企業	最終商談企業
令和4年4月26日・5月10日	オンライン開催	発注1社 受注12社	4社	2社

イ 展示会の実施

ふくおか産業技術振興展（主催：ふくおか産業技術振興展実行協議会）

開催日	開催場所	出展企業数	商談件数	成約件数及び成約金額
令和4年7月6日～8日	西日本総合展示場	23社	120件	8件：9,995千円

福岡県技術提案展示商談会（地域資源活用等促進事業）

開催日	開催場所	出展企業数	名刺交換枚数	成約件数及び成約金額
令和4年6月2日	ニプロ（株）総合研究所	30社	452件	3件：3,260千円

② 展示会への出展支援

新規取引先の開拓及び広域的な受注の確保を目的に展示会へ出展する企業に対し、助成を行った。

福岡市販路開拓展示会（福岡市からの補助事業）

開催日	開催場所	展示会の名称	出展企業数	商談件数	名刺交換枚数
令和4年10月5日～7日	マリンメッセ福岡	モノづくりフェア 2022	4社	300件	219件

③ よかもん市場の運営

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている県内中小企業者に対する支援として、新規に出店する事業者について年間出店料を一定条件下で無料とするとともに、既存出店事業者についても年間出店料を半額とした。

また、商品の魅力を十分に伝えるため、専門家による取材記事を県内情報サイト「MOTTO FUKUOKA」に掲載するとともに、動画配信やSNS企画広告を実施した。

さらに、地域商材を体験する小規模イベントを開催し、開催告知から実施後の報告をSNSで発信することにより、広範囲かつ継続的な情報発信を行った。

出店数：89店

売上額：12,252千円

商品アイテム数

食品 飲料品	インテリア	工芸品 民芸品	美容・健康	ファッション	ベビー キッズ	その他	合計
677	123	50	74	11	5	48	988

県産農林水産加工品よかもん市場登録件数(地域資源活用等促進事業)

登録申込件数	うち登録済件数
9件	9件

県産農林水産加工品取材件数(地域資源活用等促進事業)

掲載月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
掲載件数	0	1	2	1	1	1	12
掲載月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
掲載件数	1	1	1	1	1	1	

SNSフォロワー数推移(地域資源活用等促進事業)

Facebook Instagram LINE	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(SNS 企画広告) ・実施回数：6回
	5,488	5,554	5,577	5,726	5,863	5,994	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(小規模イベント) ・実施回数：6回
	6,218	6,320	6,404	7,237	7,253	7,343	

(3) 取引の適正化

(公財) 全国中小企業振興機関協会と連携して「下請かけこみ寺」事業を実施し、下請代金の遅延等、中小企業の苦情紛争相談に対し、相談員を配置し窓口相談や巡回相談会を行った。

① 相談件数

内 容	下請代金支払遅延等防止法						下請代金支払遅延等防止法以外			合 計	弁護士 相談件数
	遅延	減額	返品	買叩	要請	その他	建設業関連	運送業関連	その他		
相談件数	11件	2件	4件	30件	7件	11件	29件	5件	425件	524件	96件

② 出張相談会の開催

業種を問わず企業間取引等に関する苦情紛争相談について、弁護士による出張相談会を開催した。

開催日	開催場所	弁護士	相談件数	主な相談内容
令和4年 9月28日	中小企業振興センタービル	松本 幸太 氏	6件	支払遅延、契約不履行
令和4年10月21日	北九州市立商工貿易会館	中野 敬一 氏	5件	企業譲渡、店舗立ち退き
令和4年11月17日	飯塚商工会議所	中村 博則 氏	6件	代金未払、製造品瑕疵
令和4年12月 8日	青翠法律事務所	富永 孝太郎 氏	5件	価格交渉、代金未払、返済金遅延
令和5年 1月26日	中小企業振興センタービル	八尋 光良 氏	5件	支払遅延、求人広告
令和5年 2月16日	北九州市立商工貿易会館	平山 博久 氏	5件	代金未払、求人広告
		計	32件	

(4) 国際取引推進

国際取引に関する相談に対して、相談員等が助言を行うほか、海外事務所3か所（上海、香港、バンコク）を拠点として、情報の収集を図り、県内企業の海外進出や海外企業の誘致の支援を行った。海外ミッションの受入れ、国際取引セミナー、海外経済視察については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

4 自動車産業競争力強化支援事業

(1) 自動車産業アドバイザー及びCASE（※）プロモーターによる支援

自動車メーカーの現役社員を自動車産業アドバイザーとして2名配置し、豊富な知識と経験を活かし、県内中小企業に対する競争力向上や受注に関する助言指導、個別の取引あっせん等を実施し取引拡大の支援を行った。

また、CASEプロモーター1名を配置し、電子・電装系分野に参入可能な県内企業の発掘等を行い、福岡県が名古屋事務所に配置しているCASEプロモーターと連携して、保有する技術に応じた大手電子・電装系メーカーへの売込み等を行った。

※CASE：自動車における「つながる (Connected)」・「自動化 (Autonomous)」・「共有 (Shared & Services)」・「電動化 (Electric)」を表す造語

項目	件数
企業訪問	497件
発注情報入手	32件
あっせん	111件

(2) 取引拡大の支援

① 九州自動車関連技術展示商談会（カーエレクトロニクス分野別展示商談会と併せて実施）

日産テクニカルセンターにて、自動車産業への取引拡大等を目指す地元中小企業の優れた技術・工法により製造した加工品等を展示し、日産自動車及び関連部品メーカー等へ提案する展示商談会を実施した。

開催日	開催場所	展示企業		来場者数	
		総数	福岡県	人数	興味を持った企業（複数回答） （福岡県）
令和4年10月25日～28日	日産テクニカルセンター （神奈川県厚木市）	38社	21社	248名	89社 (48件)

② 九州自動車部品現調化促進商談会

自動車の一次部品メーカー等と地元中小企業の取引拡大に向けた商談会を実施した。

開催日	開催場所	商談参加企業数 (福岡県)			商談結果 (福岡県)
		発注企業	受注企業	面談件数	取引可能 見込件数
令和4年10月6日～7日	マリンメッセ福岡	19社 (8社)	34社 (17社)	73件 (51件)	62件 (43件)

③ 個別商談会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止した。

(3) 「自動車関連企業電動化参入支援センター」の開設・運営

次世代自動車の普及やCASEの潮流など自動車産業を取り巻く環境が急激に変化し、自動車関連企業の電動化分野等への参入促進が求められている。このため、国・県と連携し、令和4年7月、九州を支援エリアとする「自動車関連企業電動化参入支援センター」を開設した。

① 各種相談対応

支援センター内に電動化コーディネーター（トヨタ自動車九州（株）からの出向）及び専門相談員を常駐させ、九州内サプライヤーからの電動化分野への参入に関する各種相談に対応した。

相談件数：28件

② セミナー等の実施

電動化分野への参入に必要な技術動向等に係るセミナーを開催し、電動化の普及啓発を図った。

開催日	開催内容	参加者数
令和4年10月5日	支援センター開所記念フォーラム（マリンメッセ福岡） 講師：株式会社日本電動化研究所 代表取締役 和田 憲一郎 氏	会場参加：100名 オンライン参加：143名
令和4年10月18日	電動化部品展示会（トヨタ自動車九州（株））	105名
令和4年11月29日 ～12月1日	福岡県電動化技術道場（福岡県との共催）	49名

令和4年12月2日	自動車サプライヤー向けセミナー（熊本県） 講師：株式会社日本電動化研究所 代表取締役 和田 憲一郎 氏	会場参加：32名 オンライン参加：56名
令和4年12月15日	電動化セミナー（宮崎県） 講師：日産自動車株式会社 技術参与 柳原 秀基 氏	会場参加：15名 オンライン参加：19名
令和5年2月13日	次世代自動車研究会セミナー（大分県） 講師：株式会社エンビジョン AESC ジャパン 澤田 裕 氏	会場参加：62名 オンライン参加：58名

5 起業支援事業

福岡よかところ起業支援金事業

地域課題の解決を目的として新たに社会的事業を起業する者に対し、事業立ち上げ等に必要な経費の一部を助成するとともに、専門家による伴走支援を行った。
採択実績：2件 交付実績：2,511,000円

伴走支援：43回

対象者の主な要件：福岡県が実施する「福岡よかところビジネスプランコンテスト」において、二次審査に参加した者
令和3年度以降の県内市町村が実施するビジネスプランコンテスト参加者
令和3年度以降のフクオカベンチャーマーケット登壇者

6 知的財産活用支援事業

(1) 知財活動支援事業

県内中小企業の課題に応じて、知的財産の啓発・保護・活用、知的財産戦略などを総合的に支援した。

また、開放特許情報をホームページで県内外の企業に発信するとともに、開放特許の活用を促しコーディネートを実施した。

開放特許への新規登録件数：5件、普及啓発のためのミニセミナーの開催：2回

特許流通コーディネーターの活動実績

区分	件数
企業訪問等による相談・指導	188件
技術移転に係る案件紹介	6件
技術移転に係る成約	0件

(2) 知的財産実務者育成事業

知的財産を事業戦略に活かせる県内中小企業等の実務者の育成を図るため、基礎知識を修得する全10回シリーズのセミナーを開催した。

回	開催日	講義テーマ(演習を含む)	講師	参加者数
1	令和4年 7月14日	経営に資する知財活動の在り方	弁理士 羽立 幸司 氏	45名
2	令和4年 7月28日	特許・実用新案制度の概要 (Web開催)	弁理士 山下 滋之 氏	49名
3	令和4年 8月10日	特許・実用新案出願の手続きと出願後の対応 (Web開催)	弁理士 山下 滋之 氏	53名
4	令和4年 8月25日	商標権・地理的表示 (Web開催)	弁理士 山野 有希子 氏	37名
5	令和4年 9月 7日 令和4年 9月 9日	検索実務入門 (商標編)	特許流通コーディネーター	46名
6	令和4年 9月21日 令和4年 9月22日	検索実務入門 (特許編)	特許流通コーディネーター	47名
7	令和4年10月 6日	意匠権・意匠法改正 (Web開催)	弁理士 布施 哲也 氏	35名
8	令和4年10月20日	著作権 (Web開催)	弁理士 山野 有希子 氏	45名
9	令和4年11月 2日	外国出願 (Web開催)	弁護士 小木 智彦 氏	43名
10	令和4年11月18日	知財に関する契約と交渉	弁護士 田中 雅敏 氏	39名

(3) 中小企業等外国出願支援事業

中小企業等の海外展開を支援するため、特許等の外国出願に要した費用の一部を助成した。

助成企業数(件数)	助成した知的財産の種別	助成額
14社(17件)	特許9件、意匠1件、商標 7件	9,842,000円

(4) 知財総合支援窓口運營業務

株式会社東京リーガルマインド及び公益財団法人北九州産業学術推進機構とともにコンソーシアム「ふくおか知的財産支援センター」を構成し、知的財産の調査、権利化、事業化、事業展開まで、弁理士等の専門家の活用も含めて一貫した支援を行う「知財総合支援窓口」(常設3カ所及び臨時)の設置、運営を行った。

常設窓口：福岡吉塚窓口(福岡県中小企業振興センタービル6階)、福岡天神窓口(天神ショッピング福岡8階)、北九州窓口(北九州テクノセンター1階)

7 小規模企業者等設備導入資金事業（債権管理・回収業務）

小規模企業者等設備導入資金助成法に基づき、過年度に実施した設備資金貸付及び設備貸与（割賦販売・リース）の債権管理、回収業務を行った。特に、未収債権（延滞債権・契約解除債権）については、こまめな訪問面談・督促により、22,086千円を回収した。債権の資産査定を実施し、必要となる引当額を算定するとともに、回収困難となった債権については、債権償却基準に基づき適切に償却を実施した。

II 収益事業

公益目的事業を支える財源を確保するため、福岡県中小企業振興センタービル及びはかた近代ビル（区分所有）の管理・運営を行うビル運営事業を適切に実施した。

1 福岡県中小企業振興センタービルの運営

(1) 貸室の提供促進 令和5年3月末現在

種 別	室 数	利用状況
飲食店舗、事務所、売店	3室	満室
インキュベート室 インキュベート関連室	26室	空室：3室

(2) ホール・会議室の提供

① 年間売上

	売 上 金 額	利用件数
ホール	68,219,498円	231件
会議室	97,139,978円	2,101件
計	165,359,476円	2,332件

② 広報宣伝活動の強化

- ・福岡で開催される展示会を訪問し、出席者に対し施設情報パンフレットを配布した。
- ・東京・大阪・名古屋地区に出向き、企業等に対し営業活動を行った。
- ・センターホームページにホール・会議室などの施設概要を掲載し情報提供を行うとともに、空室状況を閲覧できるようにするなど利便性の向上を図った。
- ・中小企業支援団体の機関誌（福岡県中小企業団体中央会「NEWSふくおか」等）を活用し、施設情報を提供した。
- ・新規顧客の開拓に向け、インターネットを利用したリスティング広告の掲載を行った。
- ・ホール・会議室の認知度を高めるため、通年でのワンコインスペースの貸し出しを行った。
- ・新たな顧客ニーズに対応するためWi-Fi設備の更新を行い、顧客サービスの向上に努めた。

(3) 建物・設備等管理

① 維持・管理

施設、設備等の改修工事を実施するとともに備品等を更新し、利用者の利便性の向上を図った。

- ・受変電設備更新工事
- ・電力量計更新工事

② 防火・防災訓練

防火・防災実地訓練を実施するとともに災害発生時の注意事項と AED の取扱い方に関する講習会を行い、防災意識の向上を図った。

防火訓練（実地訓練） 実施日：令和4年11月29日 振興センター及び入居団体参加者数：47名

防災訓練（講習会） 実施日：令和5年 3月15日 振興センター及び入居団体参加者数：26名

2 はかた近代ビル（区分所有）の運営

6室を区分所有し、全室賃貸オフィスとして提供している。

令和5年3月末現在 空室なし